

岐阜市における 多文化共生の取組について

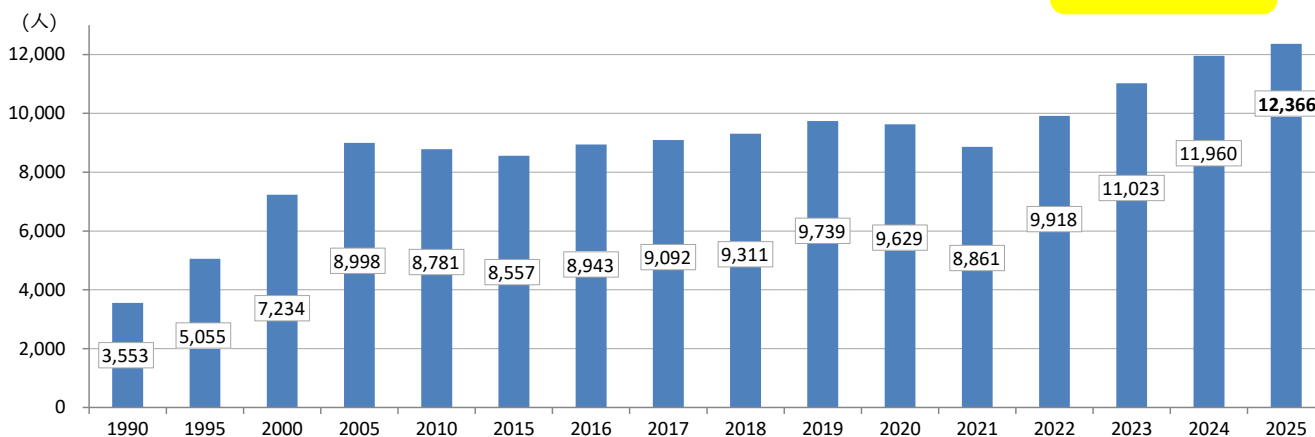
令和7(2025)年8月29日
令和7年度第1回岐阜市多文化共生推進会議

岐阜市に在住する外国人の状況

1. 外国人住民数の推移 (各年12月末現在、2025年は7月末現在)

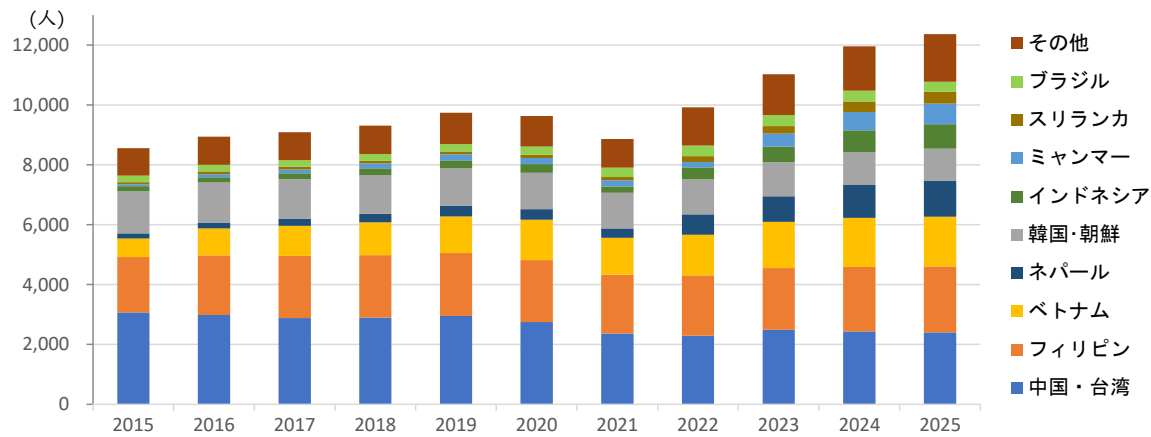
2025年7月末現在：12,366人 (岐阜市人口397,308人)

外国人住民比率
3.11%



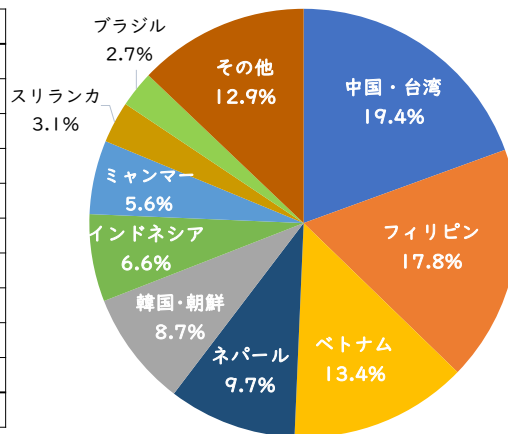
- ・ 2016年頃から増加傾向で推移していたところ、新型コロナウイルス感染症の影響で2020年から一転して減少。
- ・ 水際対策が緩和された2022年以降増加に転じ、2023年に1万人を突破。
- ・ 2024年も過去最多を更新し、今後さらなる増加が見込まれる。

2. 国籍・地域別 (各年12月末現在、2025年は7月末現在)



2025年7月末現在の内訳・比率

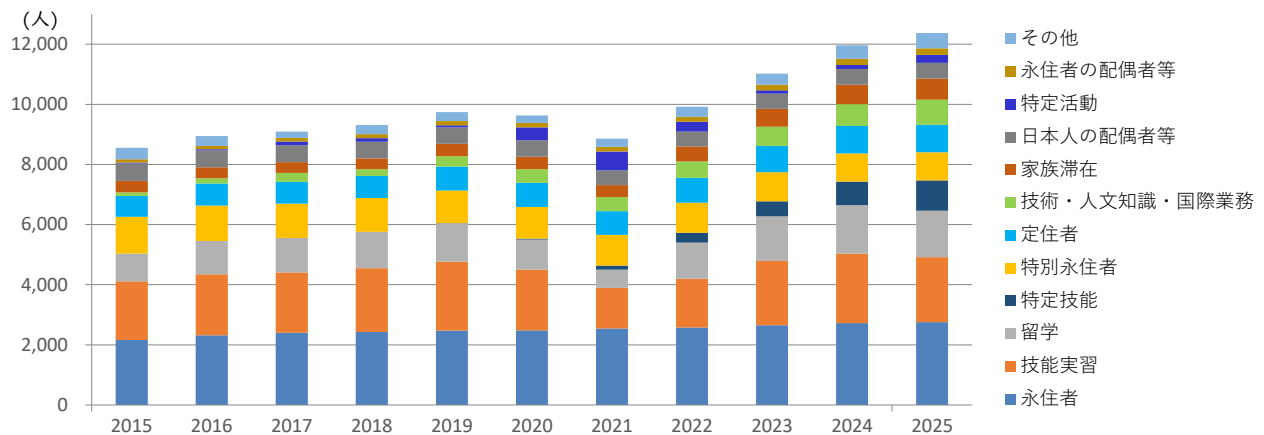
国・地域	住民数(人)
中国・台湾	2,405
フィリピン	2,201
ベトナム	1,661
ネパール	1,196
韓国・朝鮮	1,079
インドネシア	815
ミャンマー	689
スリランカ	388
ブラジル	338
その他	1,594
合計	12,366



- ・中国・台湾は減少傾向。
- ・ベトナム、ネパールは近年増加傾向で、韓国・朝鮮を抜いて上位に。
- ・インドネシア、ミャンマーも増加傾向。

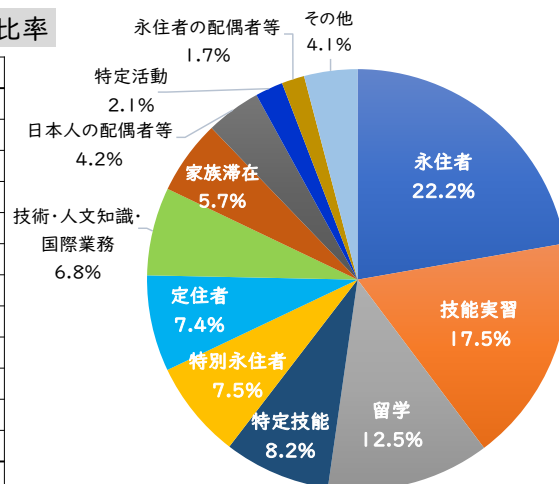
2

3. 在留資格別 (各年12月末現在、2025年は7月末現在)



2025年7月末現在の内訳・比率

在留資格	住民数(人)
永住者	2,751
技能実習	2,163
留学	1,548
特定技能	1,010
特別永住者	930
定住者	913
技術・人文知識・国際業務	837
家族滞在	706
日本人の配偶者等	522
特定活動	264
永住者の配偶者等	216
その他	506
合計	12,366

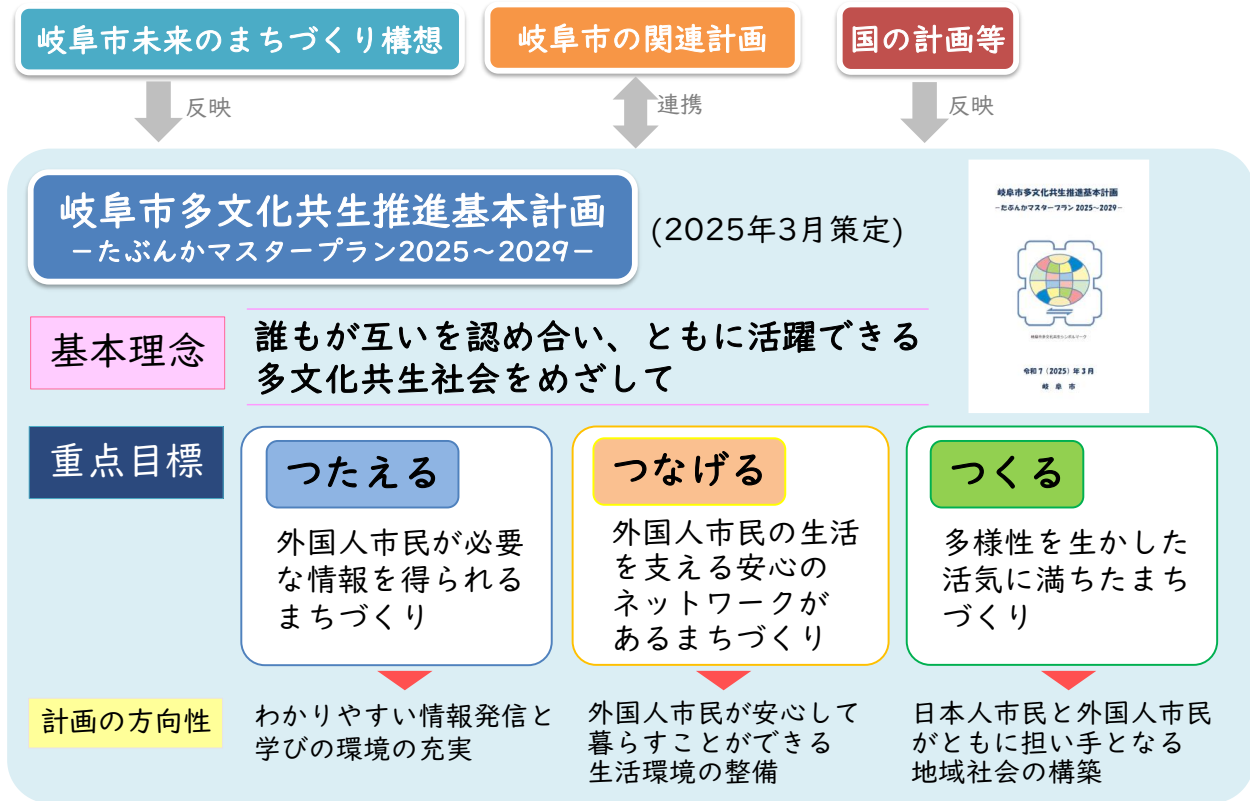


- ・「技能実習」、「留学」は新型コロナウイルス感染症の影響で2020年から減少していたが、水際対策が緩和された2022年以降増加傾向。
- ・「永住者」、「定住者」、「技術・人文・国際業務」、「特定技能」なども近年増加傾向。

3

岐阜市多文化共生推進基本計画

1. 計画の位置づけ・概要



4

岐阜市多文化共生推進基本計画

2. 多文化共生の取組

つたえる 「やさしい日本語」の普及・啓発 ★重点事業

「やさしい日本語」の普及・啓発

▶「やさしい日本語」講座

外国人市民と日本人市民とのコミュニケーション促進を目的として、「やさしい日本語」を学ぶ市民向けの講座を毎年度開催。

2025年度は、「やさしい日本語」セミナーを9月20日に開催予定。

(岐阜市国際交流協会への委託事業)



↑詳細は岐阜市
交流国際協会HP

▶職員向けの研修

多文化共生推進リーダーや新規採用職員等に対し、「やさしい日本語」に関する研修を実施。

職場で、地域で、外国人とのコミュニケーションに使える
「やさしい日本語」セミナー

実は日本語で大丈夫！

「わかりました」と言われたけど、本当に伝わっているか不安になったことはありませんか？
「やさしい日本語」を学ぶことで、外国人市民と日本人市民とのコミュニケーションがスムーズになり、業務が円滑に進みます。

この講座では、日常の日本語を少し上にするだけでなく、外国人の方にもわかりやすい「やさしい日本語」を学ぶことができます。外国人市民と日本人市民がともに担い手となる地域社会の構築に貢献できます。

参加無料

2025年9月20日
13:00～16:00 ※12:40受付開始

みんなの森 きふメディアコスモス
おどろスタジオ (岐阜市100-45)

定員：30名(先着順)
申込方法：電話または右記コードより
申込期限：8月8日(金)～9月11日(木)

申し込み・問い合わせ先
公財財団法人 岐阜市国際交流協会
〒500-8078 岐阜市東山町4丁目45番地5
☎058-263-1741
E-mail: gk3700cc@city.gifu.jp

5

岐阜市外国人向け生活情報ホームページ※での情報発信

※外国人市民が生活に必要な情報を集約して多言語で掲載するホームページ



▶ホームページの活用

2021年度に「やさしい日本語」・英語・中国語・タガログ語、2022年度にポルトガル語・ベトナム語のサイトを構築し、現在6言語で情報発信。

◀外国人向け生活情報ページ

▶ホームページの周知

2024年度に「岐阜市版 外国人市民向け生活情報パンフレット」を6言語で作成し、同ホームページについて掲載。2025年度から外国人転入者等へパンフレットを配布。

パンフレット➡



日本語学習支援体制の整備

▶日本語の教え方講座

日本語教育人材の育成を目的として、日本語学習支援に必要な知識や技術を学ぶ講座を毎年度開催。2025年度は、「日本語学習サポート入門講座」を10～11月に開催予定(全4回)。

(岐阜市国際交流協会への委託事業)

▶はなまるクラス

外国人児童を対象に、ボランティア等多彩な人材との交流を通して、学校の宿題や簡単な日本語の勉強などを教える事業で、週1回程度実施。

(岐阜市国際交流協会への委託事業)

▶外国人のための日本語講座

外国人市民を対象に、日常生活に必要なとなる基本的な日本語を習得するための講座を毎年度開催。

(岐阜市国際交流協会主催事業、岐阜市補助事業)



生活に関する情報の総合的な学習機会の創出

社会見学バスツアー IN GIFU CITY

岐阜市リサイクルセンターと長良川うかいミュージアムを見学し、ごみの分別やリサイクル、観光資源について学ぶバスツアーを2025年6月27日に開催。(岐阜市国際交流協会への委託事業)



岐阜市リサイクルセンター



長良川うかいミュージアム



関係機関と連携した生活相談窓口の充実

外国人生活相談窓口

英語、タガログ語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語に対応する相談窓口を、みんなの森 ぎふメディアコスモス内に設置。窓口対応に加えて、オンラインでの相談にも対応。(岐阜市国際交流協会への委託事業)
外国人転入者等へ配布する「岐阜市版 外国人市民向け生活情報パンフレット」に掲載。



↑パンフレット

日常生活に必要な情報の提供

岐阜市ごみ分別アプリ「さんあ〜る」(2024年10月開始)

外国語5言語(英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語)に対応。



岐阜市災害時多言語支援センターの設置

センターの設置及び運営主体

岐阜市、岐阜市国際交流協会

設置基準

- ①市内で震度7の地震が発生したとき
- ②市災害対策本部が設置され、かつ多くの外国人市民及び岐阜市を訪れていた外国人が被災し、支援が必要と見込まれるとき

業務内容

- ①災害情報の収集・翻訳・多言語での提供
(英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語、「やさしい日本語」など)
- ②避難所巡回
- ③外国人被災者からの相談への対応
- ④避難所からの通訳派遣・翻訳依頼への対応



訓練

岐阜市と岐阜市国際交流協会が共同で毎年度1回以上、設置訓練を実施。

周知

- ・岐阜市防災フェア等で災害時多言語支援センターのチラシ(多言語)を配架。
- ・外国人転入者等へ配布する「岐阜市版 外国人市民向け生活情報パンフレット」に掲載。

10

つくる

交流・学び・活動する場の充実

多文化交流プラザを中心とした多文化交流の場所づくり

国際交流・多文化共生の拠点として、みんなの森 ぎふメディアコスモスに設置する「多文化交流プラザ」を中心に、日本人市民と外国人市民が交流・学び・活動する場を提供。各国・地域の文化や言語を紹介するイベント等を定期的開催。(岐阜市国際交流協会への委託事業)



つくる

地域に根差した多文化共生の推進と外国人市民の社会参画の促進 ★重点事業

多文化共生モデル地区の設置

地域における多文化共生を推進するため、多文化共生モデル地区を設置し、地区の自治会に地域多文化共生推進員を、日本語学校や外国人を雇用する企業など外国人市民が多く所属する団体に地域多文化共生サポーターを配置する予定。

つくる

外国人市民の意見の反映

外国人市民の意見聴取

外国人市民の意見が市政に反映されるよう、外国人市民を対象とした多言語アンケート調査等による意見聴取の機会を毎年度設けている。

11